

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	ネットワーク接続	
科目基礎情報							
開設学科	電子・電気科		コース名	電気工事コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時限
単位数	2単位				授業形態	講義	
教科書/教材	工事担任者ＤＤ１種標準テキスト（リックテレコム）						
担当教員情報							
担当教員	本田堅一			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
この科目を受講する学生は、電気通信分野の国家試験「工事担任者ＤＤ第二種」の養成課程の科目であり、主にネットワーク接続技術を学んでいくために必要な基礎用語、ネットワーク接続技術を理解できるようになるのが狙いである。また、国家資格「工事担任者」の技術科目の一つであり、「工事担任者」としての必要な電気通信分野の基礎知識を学び理解する目的もある。							
到達目標							
この科目では、学生が電気通信分野のネットワーク接続技術の基礎を学んでいく上で必要な基礎知識の理解すること、通信分野の国家資格を受験する際に必要な知識を理解すること、「工事担任者」としての必要な知識を理解することなどができるようになることを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、電気通信分野の基礎について学んでいく上で必要な知識について、国家資格「工事担任者」の項目に準じて学んでいく。電気通信分野のネットワーク接続技術の基礎、用語等を解説し、例題、演習問題を通して理解できるように進めていく。また項目ごとに小テスト（確認テスト）を行い、この授業に参加する学生が、国家資格「工事担任者」として必要な知識が身につくように進めていく。						
注意点	この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業で配布するプリント問題に積極的に取り組み提出する。養成課程のためすべて出席をする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	試験により評価する				
授業計画（１回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	接続工事の技術（１）			ＬＡＮ配線工事（メタリックケーブル、光ファイバケーブル）について理解する			
2回	接続工事の技術（２）			ＪＩＳ Ｘ 5150:2004 構内情報配線システムについて理解する			
3回	接続工事の技術（３）			情報配線システムのフィールドテストについて理解する			
4回	接続工事の技術（４）			ＡＤＳＬの開通工事、ＬＡＮの工事試験について理解する			
5回	接続工事の技術（５）			ＩＰボタン電話装置、ＩＰ－ＰＢＸの設計・工事について理解する			
6回	接続工事の技術（６）			工事の施工管理について理解する			
7回	接続工事の技術（７）			工事の安全管理について理解する			
8回	まとめ			全体のまとめ			